

## 作業計画と実績

2018年1月10日現在

月日	曜日	予定 (12/20週間予定表より)			実績			
12月18日	月	Two-Phase Flow実験	Zebrafish Muscle2 実験	LT PCG 実験	Two-Phase Flow実験	Zebrafish Muscle2 実験	LT PCG 実験	
12月19日	火				Two-Phase Flow実験			
12月20日	水	Two-Phase Flow実験						
12月21日	木	Area PADLES 取付け作業			Area PADLES 取付け作業 ・NREP船内回収			
12月22日	金							
12月23日	土							
12月24日	日	Two-Phase Flow実験			Two-Phase Flow実験			
				[継続実施中]				
				○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験				
				○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM) を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)				
				[継続実施中]				
				○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実 施中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験				
				○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM) を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)				

日付は日本時間

**略語**

- LT PCG: 低温高品質タンパク質結晶生成実験
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- Zebrafish Muscle2: ゼブラフィッシュによる筋萎縮原因の解明  
(代表研究者: 瀬原淳子 京都大学教授)
- Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
- Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
- PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- ExHAM: 簡易曝露実験装置
- CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
- NREP: 米国NanoRacks社の船外プラットフォーム(「きぼう」船外実験プラットフォームに設置)

作業計画と実績

2018年1月10日現在

月日	曜日	予定 (12/20週間予定表より)		実績	
12月25日	月	Two-Phase Flow 実験	Amyloid 実験	Two-Phase Flow 実験	Amyloid 実験
12月26日	火	Two-Phase Flow 実験		Two-Phase Flow 実験	
12月27日	水	Two-Phase Flow 実験		Two-Phase Flow 実験	
12月28日	木			Two-Phase Flow 実験	
12月29日	金			Two-Phase Flow 実験	
12月30日	土			Two-Phase Flow 実験	
12月31日	日			Two-Phase Flow 実験	

日付は日本時間

略語

- LT PCG: 低温高品質タンパク質結晶生成実験
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- Amyloid: 微小重力環境下でのアミロイド線維形成と性状評価  
(代表研究者: 加藤晃一 自然科学研究機構)
- Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
- Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
- PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- ExHAM: 簡易曝露実験装置
- CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

## 「きぼう」利用の週間実績

2018年1月10日現在

月日	曜日	イベント内容		
1月1日	月	Amyloid 実験	[継続実施中]  ○船内利用 ・Space Pup実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・LT PCG実験  ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置(ExHAM)を利用した曝露実験 ・高エネルギー電子、ガンマ線バーストの観測(CALET)	
1月2日	火			
1月3日	水			
1月4日	木			・NREP搭載装置交換
1月5日	金			Two-Phase Flow 実験
1月6日	土			
1月7日	日			

日付は日本時間

- 略語
- LT PCG: 低温高品質タンパク質結晶生成実験
  - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者:若山照彦 山梨大学教授)
  - Amyloid: 微小重力環境下でのアミロイド線維形成と性状評価  
(代表研究者:加藤晃一 自然科学研究機構)
  - Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者:大田治彦 九州大学教授)
  - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
  - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者:佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
  - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
  - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
  - ExHAM: 簡易曝露実験装置
  - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
  - NREP: 米国NanoRacks社の船外プラットフォーム(「きぼう」船外実験プラットフォームに設置)